町のうごき

本籍数	5,297
本籍人口	16,257
世帯数	4,375 (4,366)
住民登録人口	16,075 (15,973)
内 男	7,792
内 女	8,283

1月1日現在
（ ）内は12月1日現在

広報 てんのう

No. 181

昭和53年
2月1日発行

発行・秋田県天王町役場　☎（018878）2211～4
編集・企画室　印刷・秋田協同印刷 ☎（0188）㉓7477～8

無火災を祈願 1月7日出初式

七十一名が表彰

▶住民の財産と、生命を守る町消防団員の勇姿

▶整列も厳粛に

▲有功章をうける菅生喜太郎氏

一月七日、町消防団恒例の出ぞめ式が町公民館で、消防関係者多数出席して厳粛に行われた。

当日は町内の十二の分団から二百四十七名の団員が参列し、各分団ごとに整列、厳しい表情で式典にのぞんだ。

団旗入場の後、無火災と消防団員の安全を祈願した。

続いて永年にわたって消防業務に功績のあった方々、七十一名が表彰された。

表彰者は次のとおり

◇秋田県知事表彰◇

○有功章

【第七分団】桜庭周光、【第十一分団】菅生喜太郎

○三十五年勤続章

【第四分団】菊地貞蔵、【第七分団】桜庭喜八郎、【第二分団】柏崎佐吉郎

○三十年勤続章

【第五分団】吉田理之助、【第六分団】西村由蔵、【第八分団】佐々木貞直、佐々木松之助、加賀谷久太郎、佐々木孝市、加賀谷豊治、佐々木嘉吉、佐々木雷蔵、佐々木芳三、加賀谷与市【第十二分団】菅原幸太郎、菅原兼太郎

○二十五年勤続章

【第十分団】渋谷滝雄

○二十年勤続章

【第一分団】渡辺欽也、【第三分団】藤原吉隆、児玉正光【第十分団】桜庭茂雄、【第十一分団】菅生藤治郎、【第十二分団】菅原良蔵、菅原与一郎、菅原重喜治、大貫専太郎、大貫金一郎

◇秋田県消防協会長表彰◇

○功労章

【第一分団】三浦直蔵
【第四分団】菊地金市

【第五分団】三浦孫四郎、三浦五郎二、吉田伝吉、三浦友栄
菅原　清、吉田慶太郎、三浦重春

○精勤章

【第五分団】三浦甚勝、【第八分団】佐々木信雄、【第十分団】伊藤久悦、石川好男、渋谷斉、【第十一分団】菅生欽一

○勤続章

【第三分団】伊藤清太郎、【第七分団】佐藤幸孝、桜庭岩春、桜庭一明、【第九分団】進藤信一

◇男鹿南秋支部長表彰◇

○七年勤続章

【第一分団】石井哲男、【第二分団】児玉金市、村山久巳、金子　司、【第四分団】笹渕海紀男、菊地健太郎【第九分団】佐藤知雄、【第十分団】渋谷浩二、桜庭　茂、【第十一分団】菅生勇一、【第十二分団】菅原徳志、菅原耕作

○優良消防団員表彰

【第七分団】桜庭菊男、【第八分団】佐々木肇【第九分団】渡部喜美雄、【第十分団】桜庭金也、【第十一分団】菅生周治郎、【第十二分団】菅原忠治

◇男鹿地区連絡協議会長表彰◇

○五年勤続章

【第三分団】藤原昭弘、【第四分団】菊地福一郎、菊地晴男、菊地孝次郎

◇一般協力者表彰◇

○防火水そう用地無償貸与

菅生吉治（出戸新町）、日野誠悦（三軒屋）、海老沢勝治、（二田）、菅原兼太郎（細谷）

○消防ポンプ器具置場用地　無償貸与

菊地福三郎（上出戸）

○羽立火災時に消火活動に協力

目黒久治（羽立）

2月6日から住民税の申告

住民税の申告相談が２月６日から始まります。

申告する義務のある方は、昭和53年１月１日現在で本町に住所のある方のほか住民登録の有無にかかわらず実質的に生活の本拠が本町にある方です。

※指定日の当日、都合で申告できない方は３月15日までに役場税務課に必ず申告してください。

住民税申告相談日程表

月　日	曜日	対　象　地　域	申告会場
2.　6	月	牛坂	牛坂分館
7	火	上北野　　追分西	北野児童館
8	水	追分	追分分館
9	木	上出戸	上出戸分館
9	木	三軒屋	三軒屋分館
10	金	出戸新町	出戸新町分館
13	月	細谷	細谷分館
14	火	下出戸	下出戸分館
15	水	蒲沼　　棒沼台	蒲沼分館
16	木	二田　8区～10区	二田児童館
17	金	二田　11区～12区	二田児童館
20	月	二田　1区～7区	天王町公民館
21	火	大崎　1区，2区，5区	大崎分館
22	水	大崎　3区～4区	大崎分館
23	木	羽立　1区～2区	羽立分館
24	金	羽立　3区～4区	羽立分館
27	月	中羽立	中羽立分館
3.　1	水	塩口全域	塩口分館
2	木	渋谷	渋谷分館
3	金	児玉	児玉児童館
6	月	江川　1区～2区	江川児童館
7	火	江川　3区～4区	江川児童館
8	水	旭町　　東荒町　　西荒町	戸主会事務所
9	木	本町　　下町	戸主会事務所
10	金	神明町　　下荒町	天王本郷分館
13	月	曲町上　　曲町下	天王本郷分館
14	火	塩口北野	塩口北野分館
15	水	羽立北野	羽立北野分館

時間は各日とも午前９時30分から午後３時30分までです。

確定申告説明会・納税相談日程表

月日	曜日	内　容	対象	会　場	時　間
2.　7	火	譲渡所得説明会	全町	天王町公民館	午前10.00～
		確定申告説明会	全町	天王町公民館	午後1.00～
2.　28	火	確定申告納税相談	全町	天王町公民館	午前10･00～

三区画を分譲

―羽立北野分譲宅地―

町では羽立北野分譲地を都合により買戻しされた三区画について次により分譲いたします。

▽分譲地　天王町天王字羽立北野

▽分譲区画数―三区画

▽一区画の面積　四百三十二平方メートル（約百三十坪）

▽分譲価格―三千八百十円（一平方メートル当り）―坪当り約一万二千六百円

▽申し込み資格

①町内に継続して三ケ月以上居住、または勤務している人

②現在、自分の住居住宅を建築するため宅地がなく困っている人

③宅地購入後三年以内に住宅を建築できる人

④分譲代金の支払いができる人

▽申し込み期日　昭和五十三年二月五日～十五日

▽申し込み先――役場建設課

▽取得者決定　申し込み書審査合格者で抽選のうえ決定します。

▽契約及び代金納入　分譲承認後、契約締結。代金は契約した日の月末まで全額納入すること。

詳細については役場建設課におたずねください。

＝水田利用再編対策＝

地域座談会各地で開催

町では、昭和五十三年度より実施される水田利用再編対策について、その推進方針を慎重に検討してきたが、定まった方針について、農家の方々のご理解とご協力を得るため、一月十七日より二十一日までの五日間にわたり、男鹿農業改良普及所及び天王町農協の協力を得ながら町内十七地域において、座談会を開催した。

▶表情も厳しい農家の方々

この水田利用再編対策は、農業の構造改革とも言われるだけに農家の関心も強く、各地域とも多数の出席を得ながら進められた。

出席した農家の方々は一様にその厳しさを論じながらも、目標達成のため努力しなければならないとしている農家がほとんどで、地域によっては、町の方針である計画転作を実施するため、座談会終了後ただちに会議を開催しているところもありました。

座談会での説明の要旨は次のとおりです。

◎水田利用再編対策の概要、

昭和五十三年度より、おおむね十年間にわたって行われるもので、これを数期にわけ、第一期は、五十三年度から五十五年度までの三年間とし、転作面積及び限度数量を固定するものである。

◎転作面積の配分、

配分は各農家ごとに配分することとし、算出方法は、昭和四十六年以降五十年までの開田については、開田面積の三十パーセント、昭和五十一、五十二年度の開田については、六十パーセントとし、残りは既存田に配分するものである。（既存田の配分率は五パーセント強）

◎奨励補助金のかさ上げ

転作面積は農家ごとに配分するが、町の方針である計画転作をした場合は、稲作収益に見合う程度のかさ上げをするものである。

◎その他、

単純休耕は、転作と認められないものである。

郷土史コーナー【64】

コエヒキソリ

正月行事が終ると厳冬の中堆肥運びが始まる。（昭和二十年代頃）

牛馬の踏んだワラを土の中に帰すことによって地力を回復させる。堆肥の強い臭いが鼻をつく。しかし、誰一人として気にはしない。これが秋に黄金色に輝く稲穂を実らせるのだ。

コエヒキソリに積まれ、一面まっ白な田んぼへ点々とおかれる。それは春先にちょうど碁盤に布石したような美しさを見せる。そして堆肥の山がくずされショイコやモッコで田んぼにまかれる。

コエヒキソリにかわって馬ソリが使用される時もあった。

▲コエヒキソリ

人が引き、馬が引き稲づくりの仕事始めである。

やがてソリが消えて堆肥は春先にトラックで運ばれるようになったが、近ごろは機械化によって牛馬が姿を消し、堆肥づくりも行われなくなった。

毎年秋になるとスモッグの発生が問題にされ、そして地力回復がさけばれるようになり、堆肥が見直されつつある。

（菊地　記）

＝保健婦だより＝

塩分のとり過ぎに注意しましょう

昔から塩辛いものの害は多いとされておりますが、食塩は体内に入ると分解されてナトリウムイオンになり、血管の壁からしみこんで血管を収縮させる働きをします。

血管が収縮すれば血液の流れに対する抵抗が強くなってその結果血圧が上昇します。

日本人の食塩摂取量は健康人で１日15グラムですが高血圧の人は約半分量、８〜10グラムとされております。しかし食塩は天然食品にも１日分を合わせると２〜３グラム程度含まれているので食塩として摂取するのは６〜８グラムをめどにしており、この量なら血圧の上昇を押えることができるといわれております。また野菜、果物にはビタミン類が多く含まれていることはいうまでもありません。特にリンゴやみかん、それに緑黄野菜にはカリウムが多く、心臓や血管を丈夫にする働きをします。また、高血圧の治療に用いられる薬によっても、体内のカリウムが少くなります。血圧が高いと心筋内のカリウムが減り、心筋硬塞の発生条件のひとつにもなりますので、充分に補給してください。さらに肥満も高血圧には禁物です。太りすぎは菓子とか、脂肪の多い肉、清涼飲料や酒の飲みすぎ、そして運動不足が原因です。ただでさえこのような食物を食べすぎると中性、脂肪やコレステロールが血管について動脈を硬化させ、血圧をあげるうえに太っていれば血液を送りだす心臓はより以上に圧力をあげなければならず、当然血圧の上昇をまねきます。

標準体重（身長cm－100）×0.9kgを10％以上超過している人はぜひ標準体重まで下げる努力が必要です。

（参考文献　栄養と料理）

昭和52年度

農家調査にご協力を

２月１日現在で、昭和52年度農家調果が行われます。

これは５年ごとに調査される農業センサスのない年に毎年秋田県が単独で調査するもので、その結果は県および町の農業行政等施策の基礎資料として調査されます。

後日調査員が訪問した際にはご協力くださるようお願いいたします。

なお調査員はこの調査で知り得たことなどの秘密をもらすことはありません。またこの調査は税金などの資料には使用いたしません。

健康と親睦をはかる
十九日に全町家庭バレーボール大会

▶ワンツーのかけ声も勇ましく（二十八回大会―天王小体育館にて）

二月十九日、第二十九回天王町家庭バレーボール大会が町内の三会場で行われます。

第一会場が町公民館（若妻の部）第二会場が天王小学校体育館（青年の部）、第三会場、天王中学校体育館（主婦、壮年の部）で行われます。

チーム編成は、若妻の部、満三十一歳末満八名、青年の部、満三十六歳未満六名。

主婦の部、満三十一歳以上八名（四十歳以上二名以上含む）、壮年の部、満三十六歳以上六名（満四十歳以上三名以上含む）となっており、いずれも既婚者が対象です。

満年齢は、二月十九日現在です。

試合方法は各部ともトーナメント戦とし、敗者復活戦を行います。

申し込み、及び監督会議は二月十四日（火）午後六時までにメンバー表を添えて町公民館事務局にお申し込みください。

電話での受け付けはいたしません。

なお抽選は十四日、午後七時より町公民館で行います。（時間厳守）

子どもたちに明るい未来を！

生まれつき手足に異常（指の欠損や、ゆ着、変形、関節異常、耳の欠損など）を持つ子どもの親たちにより、先天性四肢障害児父母の会が生まれました。全国的な組織としていろいろな活動をしておりますが、県支部でもみなさまがたからの連絡を待っています。

父母の会は子どもたちに明るい未来を願い、福祉、医療、教育の面でお互いに助け合い、励ましあってこれらのことを国や自治体に働きかけてゆきたいと考えています。それにはまず、実態調査が必要で、子どもが生まれた前後の様子、現在おかれている社会環境、障害があるが為に受ける差別、偏見などを調査の対象にしています。

先天性四肢障害の原因が究明され、二度とこのような不幸が生まれることのない対策がたてられ、一刻も早く安心して子供を生める社会、子どもたちのための明るい未来を願っています

該当児をお持ちの方のご協力と連絡をお待ちいたします。

▽連絡先
秋田県支部
秋田市土崎港東二丁目15の29
加藤　隆雄
☎（0188）四六―六二四七

あなたもバレーボールを

町バレーボール協会では、健康と融和をはかるべく広く会員を募集いたします。

バレーボールに関心をお持ちの方、あるいは健康増進などを考えている方は、二月十五日までに町公民館にお申し込みください。

青年男女、壮年主婦の方など気軽にバレーボールにご参加ください。

短歌

天王町短歌会（一月）

羽立　鈴木秀夫
飲むたびに前後の見さかい失えて妻にさとさる年の始も

二田　三浦絹子
剪定の枝を捨いて活けおきしボケの芽吹きて正月は来ぬ

二田　渡部ツナ
上野駅久々にあう孫と子の駈け寄りて来るを両腕に抱く

二田　桜庭たえ
子無きかと気遣いおりし娘よりみごもりしとて電話かけくる

羽立　安田ツル
真孤くさで老いが作りし注連飾り正月の門に色よく匂う

追分　藤井智恵
朝夕の起き伏し如何に一人住む恩師の賀状暫し手にとる

追分　吉田左歩路
去年まで賀状に意義ある歌添えて送り来し友逝きて寂しも

俳句

天王町俳句会（一月）

天王　京谷郷愁
流れ木にまつわる伝説冬の海

天王　児玉伯秋
初硯奈良のみやげの墨匂う

牛坂　藤原邦
拍手の音かさなりて去年今年

天王　米谷冬華
藁沓へ輪飾り並べ松納め

下出戸　佐々木汀月
蜜柑むくや過食にならぬ齢となり

追分　鶴谷トシ
駆けぬけし少年初日背にあつめ

牛坂　鈴木玉斗
欠航ときまり屋台におでん食う

天王　京谷蒼湖
初春の街濃き紅さして婦警佇つ

追分　安田鹿山
寒夜の巡視大地の冷をしかと踏む

渋谷　戸田栄春
吹雪しが妻の寝息の安らかに

老齢及び通算老齢年金の「現況届け」を忘れずに

国民年金

国民年金を受けている人は今後とも引き続いて年金を受けるためには「現況届け」を出さなければなりません。

今年、この届けを出さなければならない人は、五十二年二月十五日以前から老齢年金、通算老齢年金を受けている方々です。

この方々には社会保険庁から"現況届け"の用紙が送られてきますので説明をよく読んで記入するところや、証明を受けるところに注意し、切手を貼って五十三年二月十五日までに必ず出してください。

もし、期間内に出さないと、六月支払期からの年金が受けられなくなることもありますので注意しましょう。また、この届書はコンピューターにかけますので折り曲げたり、汚したりしないようにして提出してください。

「早春」（二月）

渡部六愁

皿の春あふれて妻の手にこぼれ
馬四肢に力貯わえ寒明ける
絵硝子のなかに神父ら早梅咲く
歩行器のキラリと返る早春光
冬の海春呼ぶリズムひきつづけ
雪晴れやひとつのわれに影ひとつ
道路鏡貧しい北に凍てもどる
二ン月の半身酔える赤提灯

財形住宅貸し付けの受けつけについて

住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている方を対象に『財形住宅貸付け』の申し込み受けつけを昭和五十三年二月二十八日まで行っています。

この貸しつけを公庫の個人住宅貸しつけなどとあわせて利用する場合は、住宅が竣工するまでに申し込むことになっていますが、**住宅の竣工が昭和五十三年三月から五月になる予定の方は必ず昭和五十三年二月二十八日までにお申し込みください。**

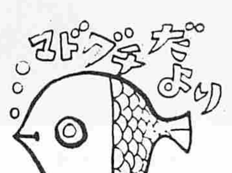
○融資額　財形貯蓄残高の二倍。ただしその額が一千万円を超える場合は一千万円が限度。
○利率　年六・八三パーセント
○返済期間
木造　十八年以内
簡易耐火構造　二十五年以内
耐火構造　三十五年以内

詳しいことは、公庫業務取扱金融機関、または住宅金融公庫へおたずねください。

犬の放飼はやめましょう

犬の放飼は法により罰せられます

子どもを危険な犬より守りましょう



分籍届けについて

問　私はまだ独身ですが年齢は二十四歳です。戸籍には両親といっしょに記載されていますが、私だけの戸籍にしたいと思っています。その手続きはどうすればよいのでしょうか。

答　従前の戸籍から除籍して新しく単独の戸籍を作ることを分籍といいます。

分籍をするには、分籍届けをしなければなりませんが、その届書用紙は、市役所又は町村役場に備えつけてあります。

分籍届けをする者は、分籍者本人です。届け出は分籍する者の分籍前の戸籍がある市役所か町村役場、または、分籍して新しく戸籍を作る（分籍地）市役所又は町村役場か分籍者の所在地市役所又は町村役場にできます。分籍届書には、戸籍謄本をつけなければなりません。

詳しくは、市役所又は町村役場の窓口か、秋田地方法務局の支局におたずねください。

秋田地方法務局戸籍課

農業委員会委員選挙人名簿を縦覧

町選挙管理委員会では、先に有権者の方々より提出された登載申請書にもとづき、作成した農業委員会委員選挙人名簿を次のとおり縦覧に供します。

▽期間　昭和五十三年二月二十三日〜三月九日
▽時間　午前八時三十分〜午後五時まで
▽場所　天王町役場（第一会議室）

▽選挙人名簿の確定は昭和五十三年三月三十一日確定名簿により選挙を実施することになります。

詳しくは町選挙管理委員会へお問いあわせください。

慶弔だより

誕生おめでとう

十二月中

ハラヘ　安田三四郎　長男　大貴
北野　加賀谷保　長女　恵
二田　伊藤武雄　長女　正子
塩口　桜庭喜美夫　長女　美香子
鶴沼台　真壁芳光　長女　久美子
羽立北野　三浦修悦　長男　大佑
二田　畠山忍　長男　国彦
羽立　安田堅悦　長女　悦子
蒲沼　古戸昇　長男　賢護
塩口　桜庭勇一　二女　はつみ
宮の後　伊藤重美　長女　美香
大崎　三浦次好　長男　亮介
塩口北野　大関喜代美　長男　学
北野　馬場崇　長男　趟彦
塩口　石川利美　長男　勝
二田　畠山源一　長男　源幸
羽立　安田雄之助　三男　克巳
下出戸　佐々木達郎　二男　達人
二田　伊藤清克　二女　明子
追分西　長谷川政司　長女　梢
天王　戸田四司春　長女　智子
二田　薄田芳則　長女　集美
北野　関正股　長女　さやか
持谷地　斉藤逸実　長男　実
天王　佐々木登　長男　高
ハラヘ　児玉俊明　二女　朝子
ハラヘ　米谷敬一郎　長男　真

二人の前途を祝福します

佐藤健二（二田）　沢畑恵子（山形県）
大塚宣夫（上出戸）　菊地喜美枝（横浜市）
三浦覚（二田）　船木富子（神戸市）
藤原久夫（上江川）　内藤真智子（京都市）
館岡光雄（五城目町）　池田ミユキ（雄和町）
永井和夫（若美町）　小玉れい子（男鹿市）

おくやみ申しあげます

天王　村山金治郎　67歳

薄田誠一（二田）　長谷部牧子（河辺町）
庄内一幸（追分西）　末田千鶴子（秋田市）
畠山隆（二田）　佐藤京子（仙南村）
小熊正明（二田）　林和子（茨城県）
吉田竜蔵（大崎）　藤田三津子（岩手県）
安藤直人（男鹿市）　阿部秋代（北野）
浅岡徳郎（東京都）　三浦恒子（大崎）
薄田金一（三枚橋下）　伊藤君子（北海道）
中田隆（追分）　石井エチ子（大館市）
佐々木清悦（下出戸）　志賀幸子（仙台市）
真壁堅一（二田）　菅生ユリ（羽立）
武藤健悦（羽立）　加藤俊子（合川町）
川崎雅弘（静岡県）　米谷志賀子（天王）
鈴木郁雄（上江川）　加藤志守子（静岡県）
鈴木佳秋（羽立）　小林純子（男鹿市）
星野泰伸（東京都）　佐々木久美子（二田）
船木勇幸（若美町）　吉田あや子（山口県）
佐藤幸（象潟町）　桜庭恵子（塩口）

善意ありがとう

天王村立尋常高等小学校初等科六年卒業生—昭和十九年—（代表京谷金之助氏）九十六名の方々より、志として町社会福祉協議会に金二万円が寄せられた。

また正月の"なまはげ"でいただいたお金が江川青年会より九千三百円、二田青年会より一万円が町社会福祉協議会に寄せられた。